



映画評論家 清水節さん「レヴェナント：蘇えりし者」

舞台は1823年、西部開拓時代のアメリカ北西部。仲間の裏切りで最愛の息子の命を奪われた男、ヒュー・グラス。激しい怒りを力に変え、奇跡的に死の淵から蘇えった彼は裏切り者の追跡を開始する。300キロにおよぶ過酷なサバイバルの果てに彼を待つものとは…。

凄絶を極めるサバイバルムービー

この映画は、人間が生き抜く力をまざまざと見せつけられるサバイバルムービー。タイトルの「レヴェナント」とは、黄泉の国から帰還した者を意味する言葉です。

主演はレオナルド・ディカプリオ。

アメリカ開拓時代の未開の荒野で、彼は瀕死の重傷を負います。そのうえ、仲間の裏切りに遭い、置き去りにされてしまいます。野生の熊との格闘、先住民族の襲撃、飢え、渇き、そして極寒。復讐だけが彼の生きる目的となっていきます。



TOHOシネマズ 六本木ヒルズ

自然光を貫き、長回し撮影に挑むカメラワークは凄まじいまでの迫力で、ディカプリオは5度目のノミネートにして悲願のアカデミー賞を獲得しました。

3月23日に六本木ヒルズアリーナで行われるジャパンプレミアには、ディカプリオが出席予定です。「レヴェナント：蘇えりし者」は、4月22日からTOHOシネマズ 六本木ヒルズにて上映します。

▶ TOHOシネマズ 六本木ヒルズ

(2016.03.22)

ディカプリオ悲願のアカデミー賞受賞！

主人公のヒュー・グラス（1780年頃～1833年）は実在の人物。ハイイログマに襲われて重症を負い、旅の仲間に見捨てられながらも生還した話は、長い年月にわたりアメリカで語り継がれています。映画はこの実話を基にしたマイケル・パンクの同名小説が原作。悲願のアカデミー主演男優賞を手にしたレオナルド・ディカプリオが主演を努めます。

監督は、昨年の『バードマン』に続いて今年もアカデミー監督賞に輝いた、アレハンドロ・ゴンサレス・イニャリトゥ。2年連続の監督賞受賞は、65年ぶりの快挙です。撮影監督は、本作で史上初の3年連続アカデミー撮影賞を受賞したエマニュエル・ルベツキ。仇役は『マッドマックス 怒りのデス・ロード』で主演したトム・ハーディ、音楽には坂本龍一も参加するなど、超豪華な俳優&スタッフ陣が集結しました。

プロフィール



映画評論家・クリエイティブディレクター。1962年東京生まれ。共著書に新潮新書「スター・ウォーズ学」。企画・構成原案・取材を担当したWOWOW「ノンフィクションW 撮影監督ハリー三村のヒロシマ」でギャラクシー賞受賞。